

2022 年秋学期 ロッキーズ大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

授業の形態は先生が初めに教科書の単元の説明を行い、それをノートに写し、教科書の問題を解くという感じでした。しかし、時間が余ることが多かったです。

午前と午後の2つの授業があり、一つの授業が2時間 20分でした。午前は、エッセイの書き方を学びました。午後は、プレゼンをしたり、リスニングをしたりしました。1日の一つの授業時間が長いぶん内容の濃い授業が毎日できました。

教科書を使って文法を1から学びました。先生から文法の説明を受けてその後、問題を解くような授業形態でした。グループディスカッションなどはあまりありませんでした。

授業は関西外大としていることと特に変わりがなかったです。教科書に沿ってするので特に特別感がなく日本にいるみたいでした。

文法の授業は先生が説明した後に、問題を解いて答え合わせをして進める。リスニングとスピーキングは教科書に沿って進めていく。

最初に行われるクラス分けテストによってレベル別のクラスが決まりました。午前はリーディング、ライティング、文法の授業で、午後はリスニングとスピーキングの授業でした。授業は基本的に教科書に沿って行われました。私のクラスは、外大の必修の授業と似ていると感じました。

まずはじめに、テストがあり、そこでレベルが分けられます。そして、午前は grammar・writing・reading の授業、午後は speaking・listening の授業でした。それぞれ、2時間 20分の休憩が15分ありました。主に教科書の問題を解いたり、パソコンで問題を解いたりしていました。班になっていて、グループで話し合う時間が多かったです。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

クラスの人数は12人で、そのうち一人がウクライナ人の留学生でした。また、そのうち7人が関西外国語大学の先生で、4人が東京の大学の生徒でした。

日本人:外国人=9:2 でした。日本人がとて多かったです。他の留学生はベトナム人とジョーダンの方でした。

1クラスの人数は12人でそのうちの11人が日本人でした。ウクライナ出身の留学生が1人いました。

クラス人数は10人ぐらいでそのうち二人以外は全員日本人でした。そのほかの留学生の国はベトナムでした。

クラス人数:12人 日本人:11人、ウクライナ人留学生:1人

クラス人数は10人で、日本人が7人で他の国の留学生は、ウクライナ出身が1人、チリ出身が1人、カナダ出身が1人でした。

クラスの人数は12人で、日本人11人・ウクライナ人1人でした。学年、年齢がバラバラでした。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

クラスの雰囲気はとてよく、発言もしやすく、ディスカッションの際はみんなで意見の言いやすい環境でした。また、机のレイアウトがディスカッションがしやすい配置になっているのでそれもよい点でした。

自分の意見がたくさん問われてたくさん意見を話す機会がありました。先生は一人一人としっかりと向き合っている感じがしてすごくよかったです。

わからないことがあったら授業中であっても、すぐに先生に質問ができるような雰囲気でした。

みんなが積極的に発言して楽しい雰囲気

日本の授業と比べて少人数なので、みんな仲が良く、雰囲気良かったです。

クラスの雰囲気は穏やかで、質問がしやすい感じでした。分からないことがあれば、授業中でも先生に質問しやすい環境で日本よりも授業が受けやすいと感じました。また、先生も楽しそうに授業をして下さったので私達も楽しんで学習出来ました。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

印象に残っているのは、自分の好きな音楽をプレゼンするというトピックです。約6分間行いましたが、それぞれ発表の仕方が異なっていて面白かったので印象に残っています。

絶滅危惧種についての勉強をしたことが1番印象に残っています。私たちに何ができるのか、すごく考えさせられました。

なぜ危険な挑戦をする人がいるのか

動物をエンターテインメントに使うべきかどうかというディベートのトピックです。

発音の授業が印象に残っています。基礎中の基礎ですが、だからこそ日本にいる間あまり触れていなかった発音を週1回1時間以上かけてじっくり練習することが出来て、speaking だけでなく、listening も鍛えられました。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

授業の内容は基本文法だったので、内容で特に復習することはなかったのですが、分からない単語が出たときに家で復習するという努力はしました。

先生からの勧めで途中で上のクラスに変更になりました。最初はついていくのに必死で毎日その日の復習と次の日の予習と課題やプレゼンの練習などで追われていました。大変だったけれど、すごく楽しく勉強ができました。

その日に学んだことは家に帰って復習するように心がけていました。

単語を勉強して語彙力を高める

自分の意見を求められるので、他の人が発言しているときも集中して自分ならこう思うなど考えるようにしていました。

工夫した点は、自分が当たっていない時でも心の中で質問に英語で答えるようにしていました。また、なるべく長い文章で会話出来るように普段から努力していました。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。
0人	-
1人	日本

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
徒歩	0-15分	ホームステイ先
バス	15-30分	ホームステイ先

部屋に用意してあったものは何ですか。

ベッド・勉強机・椅子・クローゼット・タンス・ベッド用の電気

ベッド・机・クローゼット・棚・鏡・ハンガー

ベッド、クローゼット、勉強机、椅子

勉強机セット、ベッド、全身鏡、手鏡、文房具、タンス

ベッド、勉強机、電気、タンス、クローゼット、ゴミ箱

ベッド、タンス、クローゼット、ライト、加湿器、ハンガー、棚。別部屋に机がありました。

自分で用意したものは何ですか。

シャンプー・リンス・ボディソープ・ドライヤー(ホストファミリーの家でも借りられましたが持参しました)・服・スノーブーツ

タオル・服・充電器・ドライヤー・化粧水などの消耗品

シャンプー、リンス、ボディソープ、洗顔、クレンジング、化粧水などのスキンケア用品、ファブリーズ、タオル

コロコロ、ファブリーズ、ティッシュ、ドライヤー、シャンプー、リンス、ボディソープ、ボディークリーム、歯ブラシ、洗顔、化粧水、乳液、パック

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

ご飯の文化の違い。

洗濯は週に1回程度。

日本のおかずの種類が多くない、バスタブがない

洗濯が週に一回、お風呂のシャワーの時間が短い、食文化

靴で家の中に入っていくところ。

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

失敗を犯してしまったら正直に言うことの方が大切だと思いました。また、自分のすべきことは自分で言い、一緒に過ごせる時間は過ごしたほうが良いと思いました。

その国の文化を受け入れて生活することだと考える。ある程度日がすぎると自然と慣れてくるのでそれまでは変だなと感じながらも受け入れて生活することが大切だと感じる。

ホストファミリーに家庭でのルールを決めておくと、トラブルが起きないと思います。

英語を勉強してから留学に挑み、ホストファミリーとしっかりコミュニケーションが取れるようにする

積極的にコミュニケーションをとる。何かに誘われたら参加するようにしたら仲が良くなりました。英語や生活面での分からないことや悩みを相談したらいいと思います。

ホームステイ先の家族とできるだけ会話をすることで関係性も良くなり、気持ちよく生活出来ると思います。

パソコンは 持参しましたか	インターネットは部屋から 接続可能でしたか。
はい	LAN ケーブルで可能
はい	ワイヤレスで可能

携帯電話は 持参しましたか	利用方法
はい	日本から SIM カードを持参

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。

自由時間は、ジムに行ったり、インターナショナルオフィスの方が用意してくれたイベントに参加したりしていました。

私はクラブにもサークルにも入らなかった。なるべくホストファミリーと一緒に過ごした。また、その土地のことをほとんど知りたくて放課後などに友達とお買い物をしたり、観光したりした。

クリスチャンランチクラブ、アウトドアクラブ

大学は定期的にフリーランチを提供してくれました。金曜日は午前しか授業がなかったので、友達とランチを食べに行っていました。サークルはランチクラブに入り、ゲームをしたりして英語でコミュニケーションをとることが出来ました。ホストファミリーに誘われ、ボランティア活動に参加しました。

お昼休みには、ランチクラブで色々な人と食事をしたり、異文化交流でダンスをしたりしました。

学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など

学内にカフェテリアが1つあり、お昼はそこを利用していました。学校付近にお店はあまりなく、バスを利用して小さなショッピングモールによく行っていました。

Tamarack center

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備

実際に使用できる英会話・リスニング力の強化

英語の勉強をもっとしていけばよかった。

リスニング力がないとコミュニケーションが取れないのでとにかくリスニング対策をしておけばよかったと後悔しました。

英語学習(特に単語力を上げる)

言いたいことがあるのに単語が出てこないことがあったので、もっと単語の勉強をしておけばよかったなと感じました。

もっと文法を学んでおけば良かったと感じています。いざ英語を話そうとすると、文法がすぐ出てこなくて、結局単語ばかり発してしまいます。それでも相手に伝わりますが、お互い理解し合うことに疲れてしまいます。なので、もっとすぐ出てくるように文法を勉強すれば良かったと感じています。

留学前にしておけばよかったと思う準備

実際に使用できる英会話・リスニング力の強化

英語の勉強をもっとしていけばよかった。

リスニング力がないとコミュニケーションが取れないのでとにかくリスニング対策をしておけばよかったと後悔しました。

英語学習(特に単語力を上げる)

言いたいことがあるのに単語が出てこないことがあったので、もっと単語の勉強をしておけばよかったなと感じました。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

日本食・日本の文房具

ホストファミリーへのプレゼントとして日本のお菓子や子供たちへの塗り絵や折り紙を持っていたらすごく喜んでくれた。

日本の文化や景色の写真、特に成人式の前撮りの写真や富士山の写真はとても喜ばれました。

風邪薬、延長コード、ヒートテック

日本のお菓子をプレゼントとして持って行ったら喜んでくれました。部屋の乾燥がひどかったので小さい加湿器が役に立ちました。また、学校で水を入れるられるため、水筒を持って行って良かったです。

抹茶のキットカット、歌舞伎揚、ハイチュウは喜んで貰えました。また、寿司や提灯のマグネットも喜んでいました。日本からのお土産は話の話題なるので持って行って良かったです。財布は安物で2個持っていった方が便利です。

日本から持っていく必要のなかったもの

ドライヤー・タオル

洗剤

日本のお菓子や食品(ある程度は留学先でも手に入りました。)

日本から持参すればよかったと思ったもの

水筒

延長コード

洋服。ショッピングモールが思っていたよりもなくて服を手に入れるのに苦労しました。

服、着圧タイツ、レトルトの日本食

洗濯が週に1回なので、もっと服を持って行けば良かったと思いました。シンプルな服装を意識して服を持って行きましたが、現地の人は自分の好きな服装をしていたので、もっと自分の好きな服を持って行けば良かったと思いました。

水着はあった方が困らないと思います。あと、洗濯が毎日出来ないので、ファブリーズがあるといいです。

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。

お金はクレジットカード1枚、現金

現金とクレジットカードを使いました。

クレジットカードを2枚、日本円で10万円をカナダドルの現金にして持っていきました。

クレジットカードと現金

クレジットカード、デビットカード、現金

クレジットカードとデビットカードの2枚と、現金で8万円ほど持って行きました現金は割り勘する時や、教科書を買う時に使いました。

現地で支払った住居費と食費を教えてください。

休みの日のお昼は友達と食べに行くことが多く、チップを合わせて一食 5000 円くらいかかりました。

住居費と食費は、関西外大へ支払うプログラム費用に含まれていたため、直接ホストファミリーに払っていません。

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。

テキスト代は約 \$250、通学費は全員にバスカードが配られそれを持てば1学期間バスに乗り放題という形でした。料金は\$79

通学日は学校費に含まれていた。テキスト代は途中でクラスが変わったため、5万円ほどしました。

テキスト代は5万程度。通学は学生証提示でバス乗り放題だったので5000円程度でした。

テキスト代:約4万円、通学費:0円

テキストは全部で3冊で、それぞれ約1万円でした。通学費は、無料です。バスは学生証で無料で乗れました。

テキスト代は2万円、通学費はバスが無料で乗れたので0円でした。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

個人的費用は衣服やスノーブーツ、スナック・お土産などあわせて30万以上かかりました。

20~30万ほどを使いました。

洋服代は月1万。食費は月3万。お土産代に5万程使いました。携帯のSIMカード代が月5000円でした。

約20万円

2回の旅行で合わせて約15万、レストランやお菓子の食費が約5万、お土産が約2万円

個人的費用は旅行など全て合わせて20-30万円使いました。

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析

語学力は以前は単語でしか喋ることができませんでしたが、留学を経験したことで文章でしゃべられるようになりました。自分から質問をするようになり、会話をしようと思えるようになりました。

英語力は確実に上がったと感じています。新しい単語をたくさん覚えることができたのと、たくさん文を読みました。コミュニケーションも行く前よりかは自信を持って正確な文法で話すことができるようになりました。

語学力は、毎日ホストファミリーと会話をするため少しは上達したと思います。コミュニケーション力も日本にいた時より身についた気がします。

お店の注文など日常会話程度には困らなくなりましたが、専門用語や就職に役立つ程度までは全然達成していません。

聞き取り能力は飛躍的に向上したと思うが、会話は流暢にできない

学校以外に、ホストファミリーと会話したことで語学力とコミュニケーション能力が留学前と比べて向上したと思います。

初めは、英語を話すことが怖かったけれど、慣れていくうちに徐々に言葉に出来るようになりました。間違いを恐れることなく相手に伝えたいと思う気持ちがあれば話せるし、それがコミュニケーション能力の向上に繋がったと思います。

留学前の目標とその達成度

留学前は、会話をスムーズにできるようになるというのが目標でしたが、留学を終わってみると、自分自身のリスニング能力の不足を感じました。

留学前は自信をつけてコミュニケーションが取れるようになるだった。目標を達することができたと思います。あとは、次の TOEFL のスコアが上がっていることを願っています。

スピーキング力をあげるという目標がありましたが、スピーキング力の上達はあまり感じられませんでした。何か言葉を発すれば伝わるということに甘えてあまりきちんと話す機会がありませんでした。

留学前は自分に自信がなく積極的ではなかったですが、留学後は自分の意見をしっかり相手に伝えることができるようになりました。自分に自信がついたように思います。

留学前の目標は旅行で困らない程度に英語を習得することでおおむね達成できたと思う。

目標は、英語で会話をできるようになることでした。理解できないときもありますが、リスニング力も上がり、留学に行く前と比べて、喋れるようになったと思います。

留学前の目標は、ホームステイ先の人に自分から話すことでした。自分から話しかけることが中々出来ず、質問してくれたことに答えることしか初めは出来なかったけど、最後には自分が気になったことは相手に聞けることが出来たし、会話が弾むようになりました。目標は達成出来たと思います。

留学を通しての成長ポイント

私は留学を通して、積極的に発言すること、質問することを身に付けることができました。また、英語で話そうという意識も生まれました。

私は挑戦する力がついたと感じます。また、自信ができました。日本にいるときの自分ではしていないような体験にも挑戦することができました。

自分が思っていることや感じていることを恥ずかしがらずに相手に伝えることができるようになりました。

リスニング力が身についた

実用的な英語と発音、積極性と多様な価値観が身に付きました。

留学して特に身についたことは、listening 力です。speaking も大事ですが、今回留学して、listening は人と話す上でとても大事なポイントだと感じました。毎日のように家族の会話を聞いていると自然と言っていることが分かるようになっていったし、スピードにも慣れました。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学前は、単語を多く知っていることが重要だと考えていました、しかし、留学中は日常会話で使用できる英会話やリスニング力が需要だと思いました。留学後も変わらず留学中の語学学習が必要だと考えています。

留学前は自分の英語力には自信はありませんでした。しかし、留学をし、生活をしていく中で自然と自分自身がしっかりと英語にふれられていることに気づきました。英語を話していく中ですごく自分の英語に自信をつけることができました。

留学中の初めの頃は全く会話ができず、モチベーションがなくなることも沢山ありましたが、とにかく話すことを意識していたら少しずつモチベーションを高く維持できるようになりました。帰国後も語学学習へのモチベーションはそのまま維持しています。

ホストファミリーに自分の思っていることが伝わるととても嬉しくなりもっと自分の気持ちを伝えられるように頑張ろうと思うようになりました。また、ドラマを英語で見たりして、英語だけの環境を作るように努力しました。

留学前は英語を完璧にするつもりで頑張ろうと思っていたが、留学中は会話がしっかりできるようにしようと思い、留学後は留学で培った力を衰えさせないように英語を勉強し続けようと思う。

留学前は自分の英語の実力がよく分かりませんが、留学中に伝えたいのに伝えたいということがよくあったので英語学習に対するモチベーションが上がりました。留学後も、もっと英語を話せるようになりたいと留学前よりもモチベーションが高くなりました。

留学前は自分には出来ないかもと諦めそうな時もありましたし、留学中も英語だらけで分からないことばかりの時に逃げ出したくなる時もありました。しかし、留学が終わる少し前に英語って楽しいと思うようになった時があり、留学から帰ってきた今、英語をもっと話せるようになりたいと思うようになりました。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

たくさんのプレゼンとエッセイを書くことができました。それらをしている時です。

電話越しで誰かと話す時はお互いの身振り手振りが伝わらないので、会話が難しく、100%力を振り絞って会話をしました。

私は人見知りをすごくするので初めての人と話すのは凄く緊張するのですが、ホストシスターの友達が沢山いる中で日本や自分の夢について話した時。

タクシーを予約していたのにタクシーが来なくて電話をかけた時

プレゼンテーションです。文法や発音に気を付けるだけでなく、暗記し、聞いている人の目を見ながら話さなくてはいけなかったので、プレゼンテーションは 100%力を振り絞った瞬間だと感じます。

旅行中はいちばん力を振り絞りました。1人で旅行に行った訳ではありませんが、みんな何もわからない状態で周りの人に聞きに行ったり電話をしたり、自分たちで問題を解決したことが1番良い経験になったと感じています。

留学先大学の良かった点

先生たちが熱心に丁寧にわかりやすく教えてくださった。

パンキンカーピングや、クリスマスパーティーなどを行ってくれた点です。

すごくアットホームな学校で、先生と会話、質問、相談がしやすい環境でした。